

答 辞

中医薬膳師コース第18期生 坪倉 由美



本日は私達、第18期生・通信生のために、このような心のこもった式典を挙げていただき、誠に有難うございます。

また、ご多忙な中ご出席くださいました先生方、関係者の皆様に、卒業生一同 心から御礼申し上げます。

思い起こせば、本草薬膳学院で学んだこの1年間で、多くの貴重なものを得ることができました。薬膳を学ぼうとする大抵の方は、本人もしくは身近な大切な人の健康に関する悩みをお持ちかと思えます。

健康に悩みがあること自体は良いことではありませんが、これをきっかけに薬膳の知識を得られたこと、薬膳を通じて仲間や先生方とご縁があったことは人生において無二の財産です。

私達はこの学校の卒業生であることを誇りに、これからも逆境でもチャンスに変えて、社会の役に立つ薬膳を広める活動をしていきたいと思えます。

先生方、また事務職員の皆様、今日まで大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。

まだまだ未熟な私達ゆえ、卒業後もよろしくご指導ご鞭撻ください。

本日は、本当に有難うございました。

皆様方のご活躍をお祈りし、御礼の言葉とさせていただきます。



18期 中医薬膳師 土日コース

卒業テスト

2013年9月22日実施

(名前:敬称略・50音字順)

症例1: 9月5日 顔が赤い、鼻血、午後微熱、のどが渇く、皮膚の乾燥、便秘。

A班【金井まゆこ、西山三佳子、山崎陽子、渡部淳子】

【症状分析】

夏に近い秋を「温燥」という。「開竅于鼻」といわれるように肺が鼻を通じて外界とつながり、燥邪が鼻や口から侵入し肺陰を傷め、津液を消耗、乾燥から鼻血、のどの渇き、肺の華である皮膚が乾燥するといった症状が現れる。また、肺と表裏の関係にある大腸にも影響し、陽明潮熱である午後の微熱は臓腑の機能を低下させ陰液不足となり、内熱証となって便秘の症状がでる。内燥と外燥の両方の症状が現れる。

弁証: 温燥犯肺証 立法: 辛涼清熱潤肺



桑菊と銀耳と豚肉のトマトミルクスープ

<材料>

銀耳 豚ロース
桑葉 菊花 麦門冬
百合 葛 トマト缶
ズッキーニ 牛乳
水 砂糖 塩



葛梨あん白ごまプリン

<材料>

葛根 梨
練ごま
蜂蜜 豆乳
枸杞子 砂糖
レモン汁 ミント

